

科目名	後期研究指導 Seminar
担当教員	浦野 研

### ● 演習概要 Course Description

この講義は博士後期課程の英語教育学の分野で博士論文を執筆することを目指す大学院生に研究指導を行うことを目的とします。受講生は本学大学院規定に従い、3年後に博士論文を提出し、博士号を取得することを目指します。

### ● 学修到達目標 Main Goals of Course

- (1) それぞれの博士論文のテーマに従って研究方法を確認し、研究計画を立てる。
- (2) 先行研究を調査し、博士論文のテーマに従ってまとめる。
- (3) 研究計画に従ってデータを収集・解析する。
- (4) データの解析結果をまとめ考察を深める。
- (5) 博士論文のテーマに従って、学会発表を行い、学会紀要等へ投稿する論文を執筆する。
- (6) 博士論文を章ごとに順次執筆する。

### ● 演習計画 Course Schedule

授業は、「スクーリング」と呼ばれる授業への出席と所定のレポートの提出(添削と及びその改訂などを含む)によって構成されます。「スクーリング」は1年生と2年生では年間16コマ、3年生は年間8コマの授業から構成されます。受講生は担当教員と相談し、年間を通じてもっとも適切なスケジュールを立ててください。

それぞれのスクーリングで扱う内容については、指導教員からその都度指示があります。受講生は指示に従って教材に指定された文献を読み、また、博士論文執筆に必要な研究計画を立て、博士論文を執筆します。

### 課題レポート: Research Report

受講生は1年目と2年目に行った研究について、その成果をそれぞれ課題レポートとして提出してください。課題レポートの形式、分量などは別途指示します。課題レポートはそれぞれの年度の1月末までに提出し、指導教員の指導を受けてください。

### 2年目、3年目の研究成果について: Requirements in the second and third years

受講生は2年目あるいは3年目に、担当教員の助言のもとで、全国大会レベルの学会で研究成果を発表してください。どの学会で発表するかは指導教員と事前に相談して決めてください。発表した研究成果はいずれかの学内紀要あるいは学会機関誌等に投稿しなければなりません。

### ● 課題図書

- (1) 研究の方法論について

- 浦野研・亙理陽一・田中武夫・藤田卓郎・高木亜希子・酒井英樹. (2016). 『はじめての英語教育研究: 押さえておきたいコツとポイント』. 東京: 研究社.
- 竹内理・水本篤 (編). (2023). 『外国語教育研究ハンドブック: 研究手法のより良い理解のために【増補版】』. 松柏社.

(2) 英語教育学全般について

- Doughty, C. J., & Long, M. H. (2003). *The handbook of second language acquisition*. Wiley-Blackwell
- Long, M. H., & Doughty, C. J. (Eds.) (2009). *The handbook of language teaching*. Wiley-Blackwell

(3) 専門分野の領域

それぞれの受講生の専門領域の文献については、受講生の博士論文のテーマに合わせて、指導教員と相談の上、図書・論文などを含めて、読むべき文献を決めていきます。

● **事前事後学習**

受講者は担当教員の指示に従って博士論文を作成することになります。基本的にスクーリング時に、進行状況に合わせて次の指示をすることになりますが、スクーリング以外でも出来上がった章から担当教員にファイルを送り、指導を受けてください。

● **参考文献**

それぞれの博士論文のテーマに従って適宜指示します。

● **成績評価方法**

博士論文の評価は主査(担当教員)および外部審査員 1 名を含む 3~4 名の副査による最終試験(口頭試問を含む)によります。